

～薬物乱用防止啓発演劇を鑑賞～

1月24日（水）に栃木県保健福祉部のご協力により、劇団三十六計の薬物乱用防止啓発演劇を観賞しました。中学生が主人公の劇で、受験勉強がはかどらない、先輩に勧められたことなどがきっかけで薬物に手を染めてしまう様子が演じられました。薬物の通称名や実際に発覚した事件をもとに解説が加えられ、生徒も薬物の恐ろしさを実感したようです。薬物を勧められる場面では、絶対に流されてはいけないという強い気持ちが大切だと感じました。

明るい未来を守るためには、薬物を買わない・使わない・かかわらないことを徹底することだと学びました。

